



核兵器禁止条約 締約国会議

日本政府もオブザーバー参加を」



核兵器禁止条約の締約国会議が6月21日からオーストリアのウィーンで開かれました。それに向けて富山県被爆者協議会（小島貴雄会長）や核兵器廃絶をめざす富山医師・医学者の会（金井英子代表世話人）、小矢部平和委員会（堀内喜亨代表世話人）から「日本政府もオブザーバー参加を求める請願」が

核兵器は人類と共存できない

【砂田委員】 広島、長崎でたった1発の爆弾で何十万という人たちが犠牲になった。そして、それから80年近く経っても、放射能の影響で苦しんでいる人がいる。生物化学兵器などと同時に核兵器は人類と共存できない、禁止すべきものだ。

核兵器があれば戦争を防げる？ そのようなことはないことが明らかになった。ロシアが核兵器の先制使用で脅かしている。核兵器が戦争を抑止するならば、世界中の国が核兵器を持ったらどうか。本当に安全になるか。これを考えても、核兵器は完全に禁止するしかないということは明らかだ。

NATO加盟のドイツなども オブザーバー参加している

日本政府は、この核兵器禁止条約に核保有国が参加していないから参加しないと云っているが、条約を批准した国だけでなく、NATO加盟のドイツなどもオブザーバー参加している。30か国がオブザーバー参加して、「核兵器がいかに非人道的なものか」「核兵器で平和をつくることはできない、核兵器を禁止すべきだ」という話し合いをやっている。

締約国会議で批判の声が次々と 「被爆国政府がなぜ出席しないのか」

その締約国会議で、「何で戦争被爆国の日本政府が出てこないのか」と厳しい批判の声がある。日本政府は核保有国との間の橋渡しをするなどと言っているが、批准していない30か国が、その橋渡しの役をしているのに、日本政府はそれに背を向けている。大変情けないことだ。そういう被爆者の思いを、市民の思いをぜひ、小矢部市議会として、日本政府に伝えていただきたい。



「反対した委員」 「アメリカの機嫌を損ないたくない」

砂田委員のおっしゃる通りだと思う。私も核兵器はない方がよいが、アメリカとしっかりパートナーシップを握っていかねばいけない。オブザーバー参加することで、アメリカの機嫌を損なうよりも、アメリカとともに世界平和を願っていく方が現実的だと思っている。

もめごとを戦争にしない

ASEANに学ぼう

【砂田委員】 ソ連が崩壊した後でヨーロッパ全体の国々が問題を話し合いで解決する話し合いの場をつくっていた（欧州安全保障協力機構（OSCE））。ところが、実際にはそれを生かさずに、NATOもロシアもどんどん軍備拡張をし、力対力の政策をとったことにより、戦争が起きた。ここから教訓を学ぶべきだ。



ASEAN10カ国は、お互いにもめごとは必ずあるが、これを絶対に戦争にしないという条約を結んでいる（東南アジアにおける友好協力条約・TAC）。いまASEANは東アジアの日本、ロシア、アメリカ、中国などを含めて、ASEANのように、絶対に武力行使をやらない、話し合いで解決するやり方を東アジアに広げようとしている。

ASEAN流 敵をつくらない

「あいつはけしからん」「あいつをやっつけろ」というように敵をつくって、お互いに力と力でぶつかったら、ヨーロッパで起きた戦争のようなことが起きる。それをさせない取り組みがすでにアジアで広がっている（東アジアサミットII「対抗ではなく対話と協力の地域」）。これを大いに進めていくということが非常に重要だ。

アメリカにも 言いつべきことを言いつのが真の友人

アメリカだって国連憲章を無視して、イラクに大量破壊兵器があるという嘘の情報に基づいて戦争をふっかけた。アメリカと仲良くしたいのであれば、その時にそんなことやめておくと、真剣に言うのがほんとうの友人だ。しかし、日本政府としてそれをやらない。アメリカの言うことなら何でも「はいはい」とくっついていく卑屈な態度でなく、本当の友達ならばちゃんと「言いつべき」とは言うというのが非常に重要だと強調しておきたい。

週刊 明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2022. 7. 10 通巻 1565

日本共産党 小矢部市委員会

市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でもご相談を

市議会議員 砂田喜昭
Tel 67-4322

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 3497円
日曜版 930円

市議予定候補 上田由美子

禁無断転載 複写配布